

## 音楽実技課題

### ■ 各専攻共通の注意事項

1. 音楽実技課題曲は、暗譜で演奏すること。ただし、管・打楽器専攻、および副科ピアノの課題曲は、楽譜を見て演奏してもよい。声乐専攻、邦楽器関係については各専攻の指示に従うこと。
2. 課題曲は、繰り返しをすべて省略して演奏すること。ただし、声乐専攻、長唄三味線専攻、長唄専攻、邦楽囃子専攻は除く。なお、場合により一部を省略させることがある。
3. 声乐専攻、およびヴァイオリン専攻の伴奏は、本校試験係員が行う。また、長唄三味線専攻の唄、および長唄専攻と邦楽囃子専攻の伴奏の地は、本校試験係員が行う。その他の専攻実技試験は「伴奏なし」で演奏すること。
4. 専攻の楽器（ピアノ、ハープ、箏、三絃、長唄三味線を除く）は、各自持参すること。
5. 弦楽器の各専攻のうち、ヴィオラ専攻志望者はヴァイオリンで、またコントラバス専攻志望者はチェロで受験することができる。

### ■ 管・打楽器関係の各専攻

1. (A) 共通課題（各専攻楽器を使用する）

#### 第1回 ①音階

全ての調の中から当日指定する。ただし、打楽器を除く。

#### (B) 専攻楽器別課題

##### (イ) フルート

#### 第1回 ①ガリボルディ：20の練習曲 作品88

(G. Gariboldi : Vingt Études Chantantes Op. 88) <Leduc 版>より

第11番～第20番の中から、当日指定する。

#### ②ケーラー：35の練習曲 作品33 第2巻

(E. Koehler : 35 Exercices Op. 33 Book II Twelve Medium Difficult Exercises) より

第10番

(注) 楽譜の版は特に指定しない。

#### 第2回 ①エネスコ：カンタービレとプレスト (G. Enesco : Cantabile et Presto) より

カンタービレの部分

(注) 楽譜の版は特に指定しない。

#### ②任意の楽曲1曲

##### (ロ) オーボエ

#### 第1回 ヴィーデマン：45の練習曲(Wiedemann : 45 Etüden für Oboe)

第2, 9, 10, 11, 12, 13, 14, 15, 16, 18,

20, 21, 27, 28, 29番の中から数曲、当日指定する。

(注) 楽譜の版は特に指定しない。

#### 第2回 ①ヴィーデマン：45の練習曲(Wiedemann : 45 Etüden für Oboe)

第34, 38, 40, 42, 43番の中から数曲、当日指定する。

(注) 楽譜の版は特に指定しない。

#### ②モーツァルト：オーボエ協奏曲 ハ長調 K. 314 第2楽章 (カデンツァなし)

(Mozart : Konzert C-dur K.314 für Oboe und Orchester)

##### (ハ) クラリネット

#### 第1回 ローズ：クラリネットのための32の練習曲

(C. Rose : 32 Études pour Clarinette) <Leduc 版>より

第1番～第10番の中から、当日指定する。

#### 第2回 ①ローズ：クラリネットのための32の練習曲

(C. Rose : 32 Études pour Clarinette) <Leduc 版>より

第11番～第18番の中から、当日指定する。

#### ②任意の楽曲1曲

(ニ) ファゴット

第1回 ①ヴァイセンボルン：ファゴット教則本 作品8

(J. Weissenborn : Fagott Studien Op. 8) <Peters 版>より

第2巻の第1番～第8番の中から、当日指定する。

②モーツァルト：ファゴット協奏曲 変ロ長調 K. 191 第2楽章 (カデンツァなし)

(Mozart : Konzert B-dur K.191 für Fagott und Orchester)

(注) 楽譜の版は特に指定しない。

第2回 ①ヴァイセンボルン：ファゴット教則本 作品8

(J. Weissenborn : Fagott Studien Op. 8) <Peters 版>より

第15, 21番から当日指定する。

②任意の楽曲1曲

(ホ) サクソフォーン (アルト・サクソフォーンを使用すること)

第1回 ①ミュール：フェルリング 48のエチュード

(M. Mule : 48 Études d'après Ferling augmentées de

12 Études nouvelles en diverse tonalités) <Leduc 版>より

第1, 2, 9, 10, 11, 12番の中から、当日指定する。

第2回 ①クレストン：ソナタ 作品19 (P. Creston : Sonata Op.19) より 第1楽章

(注) 楽譜の版は特に指定しない。

②任意の楽曲1曲

(ヘ) トランペット

第1回 ①アーバン：トランペット教本

(Arban : Complete Conservatory Method for Trumpet

Edited by Edwin Franko Goldman and Walter M. Smith) <Carl Fischer 版>より

第48番 (142頁), 第49番 (143頁) より

シャープ, フラット それぞれ2個までの中から、当日指定する。

②コップラッシュ：トランペット教本 第1巻より

(C. Kopprasch : Sixty Selected Studies for Trumpet Revised by

FR. Gumbert and Franz Herbst Book I) <Carl Fischer 版>より

第8, 10, 12, 22, 29番の中から、当日指定する。

第2回 アーバン：トランペット教本

(Arban : Complete Conservatory Method for Trumpet

Edited by Edwin Franko Goldman and Walter M. Smith) <Carl Fischer 版>より

第4, 8番の中から1曲を選び、下記の通り演奏すること。

・第4番 (313頁) 「チロルの歌」による変奏曲より

序奏 (アンダンテ モデラート), テーマ (アンダンテ), 変奏 I, II

No. 4 Variations on a Tyrolean Song

Introduction (Andante moderato), Theme (Andante), Var. I, II

・第8番 (327頁) 「カプリスと変奏曲」より

アンダンティーノ, アンダンテ モデラート, 変奏 I (アレグロ モデラート), II

No. 8 Caprice and Variations

Andantino, Andante moderato, Var. I (Allegro moderato), II

(ト) ホルン

第1回 ①ロウェル・リトル：フレンチホルンのためのアンブシュア・ビルダー

(Lowell Little : Embouchure Builder for Horn in F and Double Horn)

<Pro Art, Warner Bros. 版>より 第5番～第18番の中から、当日指定する。

②コップラッシュ：フレンチ・ホルンのための60の練習曲集 第1巻

(C. Kopprasch : 60 Selected Studies for French Horn) <Carl Fischer 版>より

第8, 9, 12, 13, 15番の中から、当日指定する。

③マキシム・アルフォンス：200の新練習曲集 第1巻

(Maxime-Alphonse : Deux Cents Études Nouvelles) <Leduc 版>より

第4, 5, 9, 13, 37番の中から、当日指定する。

第2回 モーツァルト：ホルン協奏曲 第3番 変ホ長調 K. 447  
(Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.3 Es-dur K.447) より  
第2, 3楽章 (注) 楽譜の版は特に指定しない。

(チ) テナー・トロンボーン

第1回 ①コップラッシュ：トロンボーンのための60の練習曲集  
(C. Kopprasch : 60 Etudes for Trombone) <全音楽譜出版> より  
第4, 15, 21, 26番の中から, 当日指定する。  
②ロッシュ：トロンボーンのための旋律的練習曲集  
(J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone) <Carl Fischer 版>より  
第9, 16, 23番の中から, 当日指定する。

第2回 ギルマン：モルソー シンフォニック (A. Guilmant : Morceau Symphonique)  
(注) 楽譜の版は特に指定しない。

(リ) バス・トロンボーン

第1回 ①ブルーメ：トロンボーンのための36の練習曲集  
(O. Blume : 36 Studies for Trombone with F Attachment) <Carl Fischer 版>より  
第7, 11, 13, 16番の中から, 当日指定する。  
②ロッシュ：トロンボーンのための旋律的練習曲集  
(J. Rochut : Melodious Etudes for Trombone) <Carl Fischer 版>より  
第9, 16, 23番の中から, 当日指定する。(ただし, 8va下にて演奏すること)

第2回 アルビノーニ：バス・トロンボーンとピアノのためのソナタ へ長調より 第1, 4楽章  
(T. Albinoni : Sonate en Fa majeur pour Trombone Basse et Piano)  
(注) 楽譜の版は特に指定しない。

(ヌ) 打楽器 (小太鼓を使用すること。小太鼓およびスタンドは各自持参すること)

第1回 ①基本打ち (1つ打ち, 2つ打ち, 5つ打ち, 9つ打ち, *cresc.* と *dim.* をともなうロール打ち)  
②本人があらかじめ作曲した作品を演奏する。(現在の自分の表現能力を十分取り入れたもので,  
演奏時間は2分以内とする) 演奏前に楽譜を提出すること。  
③簡単な適性検査  
④聴音 (ピアノにより音を与え, 音名を答えさせる。)

第2回 ①Collection Drum Solos <Ludwig 版> の4頁~9頁より, 当日指定する。  
②初見視奏などによる適性判定

2. 副科ピアノ ①音階：同一の調号による長調と短調。(ただし, シャープ, フラット記号それぞれ2個まで)  
ハノン 第39番 (Hanon : No. 39) より, 調は当日指定する。

【音階の弾き方】繰り返しを省略。短調の音階は, 和声的短音階を1回弾いた後,  
続けて旋律的短音階を1回弾き, 終止形をつけて終わる。  
音階はすべて暗譜で演奏すること。

②バッハ：二声のインヴェンション (J. S. Bach : Inventionen)  
第3番 ~ 第8番より 任意の1曲。

③シューマン：こどものためのアルバム 作品68 (R. Schumann : Album für die Jugend Op. 68)  
第12番 ~ 第25番より 任意の1曲 (ただし, 第16番は除く)。